

# 大学院生シンポジウム GS04

## 若手研究者が挑む次世代 DDS 研究

### Next-generation DDS research led by young scientists

猪山 陽輔<sup>1</sup>, 小松 美穂<sup>2</sup>

<sup>1</sup>静岡県大薬院, <sup>2</sup>名古屋市大薬院

Drug delivery system (DDS) とは、薬物が送達する部位、時間および量を制御する技術であり、DDS を適用することで薬物の有効性および安全性の向上が期待できる。新薬創出が困難となりつつある昨今、低分子医薬品のみならずタンパク質、ワクチンおよび核酸など様々なモダリティに対して DDS 研究が盛んに行われており、DDS に対する関心や期待はますます膨らんでいる。また、医薬品のライフサイクルマネジメントに対して DDS の果たす役割は非常に大きく、製品価値の向上は最終的に患者にとっての価値を最大化した医薬品の提供につながる。本シンポジウムでは、将来の DDS 研究を担う大学院生の発表を予定しており、各治療目的に則した製剤化、薬物の有用性を最大限に活かす投与経路選択、さらには将来的に AI との融合を目指した DDS など多角的な視点から経口、経肺、経皮および注射という主要な投与経路を網羅した DDS について講演していただく。総合討論では DDS を取り巻く課題や DDS の未来についてシンポジストだけでなく聴講者も巻き込んで活発な議論を展開し、今後の薬剤学分野を担うであろう若手研究者同士の情報交換の場、ひいては人脈形成の場になりうると考えている。以上より、本シンポジウムが若手研究者の成長および DDS 研究の猶々発展に貢献することを期待する。